

再録 ポスター発表

第22回日本健康体力栄養学会大会 (2015.3.15)

SGEによる体験学習が管理栄養士として必要とされる コミュニケーション能力の向上に与える影響 (継続研究)

吉田真知子* 岩瀬靖彦**

*東京聖栄大学健康栄養学部 **大妻女子大学

要旨

【目的】管理栄養士の栄養教育に求められるコミュニケーション能力や技法を修得する方法として、構成的グループエンカウンター (Structured Group Encounter : SGE;以下SGEと記す) を活用した体験的学習の導入を提案した平成24年3月の研究報告の継続研究として、対象者が変わった場合でも同様な効果が得られるかを検証することを目的とした。【方法】管理栄養学科3年生で研究に同意を得た学生91名を対象とし、SGEのエクササイズは1~3回目の授業で3回実施し、効果測定は授業前 (Pre)、3回目のSGEエクササイズ終了後 (Post)、授業最終回 (After) の3回にわたり、管理栄養士に必要とされるコミュニケーション能力評価尺度を用いた。【結果】Pre、Post、Afterによる解析を行ったところ、尺度得点全体において、 $F(2, 154) = 4.721\%$ 水準で有意な差が認められた。アンケートにおいても、「コミュニケーション能力向上に役立たせるために、SGEの体験は有効である」との回答が88.9%であった。【考察】管理栄養士に必要とされるコミュニケーション能力の向上の方法としてSGEによる体験学習を行った結果、対象学生が変わっても昨年度と同様にスキル向上の効果を確認することができ、SGEの有用性を検証することができた。

再録 ポスター発表

第10回日本給食経営管理学会学術総会 (2014.11.29-30)

給食経営管理実習における学生の態度・行動への意識介入 (第3報) ～自己評価表による教育効果の分析～

吉田真知子* 佐川敦子* 本間優理亜* 宮本理恵* 植松節子*

*東京聖栄大学健康栄養学部

要旨

【目的】給食経営管理実習では、知識・技術に加え、現場で必要とされるコミュニケーション能力やリーダーシップ力を実践的に学ぶ授業である。本研究では、3年間に亘る自己評価表による自己の振り返りを行うことによる学生の態度・行動の向上を試みた。【方法】研究に同意を得た3年次6~8期生260名中不備を除いた186名を分析対象とし、「班内で報告・連絡・相談をした」などの12項目の自己評価調査票を実習前 (ベースライン) と1~3回の各実習後の計4回行った。【結果】ベースラインと実習3回目終了時で解析したところ、項目全体及び各項目においても有意な差が認められた。期別では、6期生に比べ、7期生はビデオによる振り返りを追加し、8期生は給食のトータルシステムを学生中心に行い主体性を持たせたことにより大きな効果が確認できた。【考察】実習終了後、自分の態度・行動を振り返ることで、ソーシャルスキル向上が測られ自己評価表による教育効果が確認できた。また、学生リーダーを中心に給食運営を行い責任感と主体性を持たせることで、互いに認め合い素直な気持ちで自他を受け入れる姿勢がスキル向上を導いたと推察される。